

清水区の地下水のPFAS濃度について

内容など	<ol style="list-style-type: none">1 静岡市は令和5年10月から、市内におけるPFAS調査を進めています。その結果、清水区三保・折戸・駒越地区の淡水井戸における地下水から暫定目標値(50ng/L)を超えるPFAS濃度が検出され、令和5年12月12日に以下の注意喚起をしました。<ul style="list-style-type: none">・静岡市内の水道水については、毎年実施しているPFAS調査で、暫定目標値を超えるPFAS濃度が検出されたことはなく、安心して飲用していただけます。・三保・折戸・駒越地区の淡水井戸水について飲用を控えてください。2 3地区以外の地下水のPFAS濃度の分布を把握するため、令和5年12月15日(金)から清水区内の5地区でPFAS調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。<ul style="list-style-type: none">・駒越地区に隣接する不二見地区で暫定目標値を上回る数値が検出されました。・それ以外の4地区では暫定目標値以下でした。3 つきましては、不二見地区については、<u>地下水を飲用されている場合は、飲用を控えていただくよう注意喚起いたします。</u>4 三保・折戸・駒越・不二見地区に隣接する区域で地下水の利用についてご心配な方は、静岡市PFAS相談窓口(054-221-1359)までご相談ください。
------	--

【問合せ】 環境保全課(静岡庁舎新館13階)

担当 原、齋藤

電話 054-221-1359

清水区地下水採水地点とPFAS濃度

PFOS及びPFOAの暫定目標値が50ng/L以下であるため、調査結果は、50ng/L以下又は50ng/L超過で表示します。

